

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「次世代ベンチトップ型シーケンサーによる

ゲノム・エピゲノム解析に基づく統合的健康生命研究」

# ゲノム・エピゲノム研究討論会

**日時：平成28年3月12日（土）13:00～17:20**

**場所：関西大学 学術フロンティア・コア 3階会議室**

## 【プログラム】

13:00～13:05 開会挨拶（化学生命工学部 教授 老川典夫）

13:05～15:05 セッション1：プロジェクト研究成果発表（各発表20分）

- 比較ゲノム解析から見出された乳酸桿菌 *Lactobacillus sakei* 由来新規アミノ酸ラセマーゼの機能解析  
老川典夫\*1、●加藤志郎\*2  
(\*1 関西大学 化学生命工学部 教授, \*2 関西大学 先端科学技術推進機構 ポスト・ドクトラル・フェロー)
- シロイヌナズナ由来 selenocysteine *Se*-methyltransferase ホモログの *in vivo* 及び *in vitro* 機能解析に向けた異種発現系の構築  
●山中一也\*3、老川典夫\*4  
(\*3 関西大学 化学生命工学部 准教授, \*4 関西大学 化学生命工学部 教授)
- *Sphingomonas bisphenolicum* A01株の環境汚染物質分解能の向上と安定化  
●松村吉信\*5、高未麗\*6  
(\*5 関西大学 化学生命工学部 教授, \*6 関西大学 理工学研究科)
- 神経突起伸長に関わるエピジェネティックな遺伝子発現制御機構  
山添亮輔\*7、青山大輝\*8、松浦玖実\*8、谷尾啓介\*8、●下家浩二\*9  
(\*7 関西大学 先端科学技術推進機構, \*8 関西大学 理工学研究科, \*9 関西大学 化学生命工学部 教授)
- 曝露がシロイヌナズナの遺伝子発現量に及ぼす影響 ●細見亮太\*10、廣瀬侑太郎\*11、吉田宗弘\*12  
(\*10 関西大学 化学生命工学部 助教, \*11 関西大学 理工学研究科, \*12 関西大学 化学生命工学部 教授)
- セレン曝露が植物スプラウトに与える影響と健康機能性の評価 ●吉田宗弘\*13、細見亮太\*14  
(\*13 関西大学 化学生命工学部 教授, \*14 関西大学 化学生命工学部 助教)

15:05～15:15 休憩

15:15～17:15 セッション2：特別講演（各講演30分）

- 構造基盤研究 - アスパラギン酸ラセマーゼの温度環境適応  
●畑安雄\*15、藤井知実\*16、山内貴恵\*16、老川典夫\*17  
(\*15 京都大学 化学研究所 教授, \*16 京都大学 化学研究所, \*17 関西大学 化学生命工学部 教授)
- 細菌のゲノム重複を介した環境適応  
●稲岡隆史\*18、本山志織\*19、ワナシリ・ワナラット\*19、草房克江\*19  
(\*18 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 主任研究員, \*19 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所)
- 植物を研究対象とした次世代シーケンサーの利用 ●竹村圭弘\*20  
(\*20 鳥取大学 農学部 プロジェクト研究員)
- ヘテロクロマチン形成の分子機構  
三島優一\*21、木村博信\*21、高橋紗央里\*21、●末武勲\*22  
(\*21 大阪大学 蛋白質研究所, \*22 大阪大学 蛋白質研究所 准教授)

17:15～17:20 閉会挨拶（化学生命工学部 教授 老川典夫）

【お申し込み・参加費】 不要

【お問い合わせ先】

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学 先端科学技術推進機構（TEL: 06-6368-1178 E-mail: sentan@jm.kansai-u.ac.jp）

# 【会場案内図】

## 関西大学千里山キャンパス



### 【 お問合せ先 】

関西大学 先端科学技術推進機構

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL : 06-6368-1178

E-mail: [sentan@jm.kansai-u.ac.jp](mailto:sentan@jm.kansai-u.ac.jp)